

魅力ある温泉地づくりに関する論点

1. 背景

- 家族や団体で温泉地に旅行に出かけるという温泉の楽しみ方とともに、居住地周辺で気軽に温泉を楽しみたいという利用者のニーズの変化がうかがえる
- 国民の温泉に対するニーズは多様化しており、温泉そのものや、個性ある温泉地の自然や歴史文化、それらを大切にする温泉地の取組みといった要素が重視されている
- 日本国内では、ビジット・ジャパン・キャンペーンの高度化や日中韓の観光協力の推進等により外国人旅行者の受入が増加している一方、韓国や台湾などの近隣諸国では、温泉を兼ね備えた近代的なホテルや日帰り温泉施設の建設が急速に進展

2. 取組の方向

＜温泉行政懇談会報告書における提言＞

- 温泉を直接提供する事業者のより一層の創意工夫とともに、国や地方公共団体、特に地域との連携が重視される市町村の役割が大切
- 湯治を含めた上手な温泉利用の在り方についても検討をすることが大切
- 「国民保養温泉地」の育成、国民の関心が高まっている心身の健康づくりや自然体験・エコツーリズムなどと組み合わせた温泉地の整備など、国や都道府県等はソフト・ハード両面での温泉地への支援策を検討・実施すべき
- 関係府省が連携し、温泉行政及び観光行政の推進に取り組むべき

※魅力ある温泉地づくりを推進するためには、どのような方向で取組を進めるべきか、また、地域の取組を支援するため、国、自治体はどのような役割を果たすべきか。 【別紙：魅力ある温泉地づくりに向けた施策について】

魅力ある温泉地づくりに向けた施策について

1. 温泉地づくりのために望まれる取組

多様化する国民のニーズに対応した魅力ある温泉地づくりを進めるためには、温泉資源の保護を図りつつ、それぞれの温泉地の特性を活かした取組の進展が期待される。

(1) 地域の温泉資源の保護

温泉地づくりを進めるに際しては、モニタリングにより温泉の賦存量、水位、水温等の温泉資源の状況を把握し、必要な場合には、温泉を涵養する森林の整備などの積極的な取組を進め、保護と利用のバランスのとれた温泉地づくりを進めることが適当と考えられる。

事例：長湯温泉（大分県竹田市）

平成16年に「温泉資源涵養条例」を制定し、山林所有者が行う広葉樹の植林に補助を実施。これまで10カ所、約3ヘクタールにおいて植林を実施。

(2) 温泉地づくりの方向性

温泉地づくりの方策は、立地や利用形態等に応じて異なるものであるが、ある程度の共通性を持った今後の取組の方向性としては、次のようなものが考えられる。

○ 健康づくりの場としての体制整備

- ・療養施設等との連携の強化
- ・健康づくりのためのウォーキング・コースの設定 など

事例：湯原温泉（岡山県真庭市）

入浴法を来訪者にガイドする「温泉指南役」の養成や、地域の病院と連携して、温泉に宿泊しながら人間ドックの検査を受ける宿泊プランを展開。

○ 温泉地を象徴する自然資源や文化資源の活用

- ・建造物や街路の伝統的デザインを採用した町並み景観の創出
- ・自然・文化資源を活用した体験活動の推進 など

事例：洞川温泉（奈良県天川村）

修験道の聖地である大峯山への登山口という歴史性のある土地柄を踏まえ、まちづくりガイドラインの作成、景観に配慮した道路舗装や電線の地中化について検討中。

事例：山中温泉（石川県加賀市）

和風を基調とした商店街の建物の統一や、街の随所に文学碑やアートを配置した回遊性のあるまちづくりを実施。

事例：鳴子温泉（宮城県大崎市）

構造改革特区「鳴子温泉郷ツーリズム特区」の認定を受け、農家自らが市民農園や農家レストランを開設できるようにし、温泉客が長期滞在しながら農村体験できる条件を整備。

○快適な環境の創出

- ・パーク・アンド・ライドの導入による歩きやすい街路の創出
- ・温泉の排熱利用による環境配慮型の地域づくり など

事例：草津温泉（群馬県草津町など）

ゴールデン・ウィークなどの混雑期に、温泉街中心地区への自動車の進入を制限しシャトルバスを運行するパーク・アンド・ライド方式を導入。

事例：洞爺湖温泉（北海道洞爺湖町）

温泉排水利用による温泉街全体としてのエネルギー管理を行うシステムを構築するための調査を実施中。

○地域の情報の積極的配信

- ・各種メディアの活用やイベントの実施 など

事例：別府温泉（大分県別府市）

国際的な温泉保養都市をめざし、「ONSENツーリズム」の振興をテーマに、アジアからの旅行客も念頭に置いた総合的な取組を推進。

2. 温泉地づくりに対する支援の方向性

(1) 各主体の役割

温泉地づくりの取組は、温泉を直接管理提供する事業者や地域の団体において主体的に取り組むことが基本であり、行政機関は、次のような役割で支援を行うことが適当と考えられる。

- ・市 町 村：地域の取組を支援するとともに、地域と一体となって施策を立案、実施する。
- ・都道府県：より広域的見地から地域と市町村の取組に支援を行う。
- ・国：地域の取組を国民に広く紹介することも含め、地方公共団体の取組を支援する。

(2) 各種支援措置の連携

健康づくりや観光振興などの観点から行われる関係府省の施策との連携を強化して支援の充実を図ることが必要と考えられる。

(3) 環境保全に係る取組への支援

環境保全への積極的な取組姿勢を地域の魅力として捉え、国民保養温泉地の育成という観点も踏まえて、次のような取組を支援していくことが適当と考えられる。

- ・温泉地周辺の自然環境が地域の魅力に欠かせないことを踏まえ、自然環境の保全・再生、自然とのふれあいができるような周辺整備
- ・エコツーリズムの考え方に合致した温泉地づくり
- ・温泉の廃熱利用を組み込んだ温泉地づくり

